

おひさま サタダ

2013



vol.126

7

はいつポーズ!

《北見地区・大正》

萩原知香^{いぶき}さんと伊吹^{あきと}くん・晃斗^{あきと}くん

(紹介は2ページです)

特集

- サッカー通して“よい食”学ぶ
- 新規就農者
 激励状授与式と交流研修会開く



季節の薫り ～イチゴの収穫～



甘い香りがいっぱい漂うビニールハウスで、四季なりイチゴ「サマールビー」の収穫作業が早朝から行われている。

家族総出で形や色合いを確認しながら、一粒一粒丁寧に摘んでいく。

今年は、天候不順のため昨年より収穫開始が遅れたが、天候の回復と徹底した温度管理などの努力により、例年並の収穫が期待出来そうだ。

イチゴは老若男女問わず人気が高く、生食やお菓子などさまざまな用途で使われる。

またイチゴには、ビタミンC、ポリフェノール、葉酸などが豊富に含まれ、病気予防、美肌、ストレス解消に高い効果があるといわれている。



写真：6月27日早朝、家族総出で収穫を行う北見地区・川尻 覚さんのハウスで撮影。川尻さんは約300坪のイチゴを栽培しています。
なお、下段右の写真は5月29日から始まったイチゴの選果場で撮影したものです。

もくじ CONTENTS

○おひさまサラダクッキング「トマトそうめん」 「カボチャとベーコンの煮物」	20 16
○JAからのお知らせ	16
○ほのぼの広場 ・きたみらいのホープさん ・なかよし夫婦 ・わが家のアイドル ・ブリティーウーマン ・大きくなったら ・元気な先輩 ・思い出の写真 ・まちがいきがし ・読者の声	12
○JAきたみらい ホットライン東西南北	8
○表紙紹介 「優しさを持った子に」	2
○季節の薫り	2
新規就農者 激励状授与式と交流研修会開く	6
特集② 「よい食」学び	4
特集① サッカー通して	4

表紙紹介

優しさを持った子に

伊吹くんは毎朝お父さんやお母さんが運転する車で保育園に通っています。トラクターなどのおもちゃが好きで、実物のトラクターにも興味津々です。動いていると少し怖いけれど、止まっていたらつい運転席に乗ってみたいくなります。動物にも興味を持ち、ライオンが好きです。昨年11月には兎斗くんが誕生。7ヶ月が過ぎた現在、離乳食も始まり、中でもかぼちゃを喜んで食べます。まだ言葉は話せませんが、取材中も優しい表情で時折「アー」「ウー」と声に出し、私たちの会話に加わってくれました。普段はお兄ちゃんのことを見て真似て、一緒に遊ぼうとします」とお母さん。
お父さんとお母さんは二人の子もたちを見つめながら、「思いやりのある優しい子に育てて欲しい」と話してくれました。



【ご家族紹介】
前列左から～おじいちゃんの忠夫さん(65)、ひいおばあちゃんのスミ子さん(86)、おばあちゃんの正子さん(60)
後列左から～おかあさんの知香さん(28)と伊吹(いぶき)くん(2)、お父さんの涼太さん(28)と兎斗(あきと)くん(7ヶ月)
萩原さんは小麦、てん菜、馬鈴薯など約30%を作付けしています。

JAきたみらい合併10周年記念協賛事業 サッカーを通して 「よい食」学ぶ!!

コンサドーレ選手が「よい食」大使

JAきたみらいは6月23日、合併10周年記念の協賛事業として、JAグループ北海道とコンサドーレ札幌が協力し、サッカー教室を開き食育活動を行いました。
元気のよい小学生61人が参加し、汗を流した様子をご紹介します。

食と農の 理解促進を図る

JAグループ北海道とコンサドーレ札幌を運営する北海道フットボールクラブは食育に関する協力協定を結んでいます。その取り組みの一環として、食と農の理解促進を図るため、全道8ヶ所で選手が「みんなのよい食JA親善大使」を務め、普段なげなく食べている食事や、自分たちが住んでいる地域の農業など、サッカーを通して、見直してもらおうイベントを行っており、当JAでも合併10周年記念の協賛事業として同イベントでの食育活動を行いました。
当日は北見市の東陵運動公園球場で近隣市町のサッカー少年団10チーム61人の子供たちが参加しました。



▲指導を務めたコンサドーレ札幌の奈良選手(左)・宮澤選手(右)と西川組合長(中)



▲サッカー教室に集まった地元サッカー少年団の61人

当JAの西川組合長は「昨日のFC岐阜との試合でコンサドーレ札幌は勝利しました。今日は地元出身の奈良選手を始め2人の選手とコーチが指導にあたってくれます。今回の体験を活かし、立派な選手になって将

来、コンサドーレに入団する選手が出ることを期待しています」と挨拶しました。

サッカー教室では、北見市出身の背番号23・奈良竜樹選手と背番号10・宮澤裕樹選手、同チームの佐々木滋コーチの3名が指導にあたり、ドリブルやパスなどの基礎をさまざまな方法を用いてトレーニングを受けました。

地場産農産物で 「イチゴ大福」作る

サッカー教室終了後「よい食お弁当教室」が開かれ、参加した親子が地元の食材で作ったお弁当を持参。選手と一緒に弁当を食べ、感じたことを「みんなのよい食お弁当カード」に書いてもらいました。
食後には当JA職員が「JAの役割」や「地元で多く作られているのは、うるち米?もち米?」などの地域農業のクイズや、食育体験として地場産のもち米と小豆、イチゴを使った「イチゴ大福」を作りました。

奈良選手が所属していた北見ブルースターズサッカーチームの長瀬桐吾くん(10)と安藤誠人くん(9)は「パスやドリブルなど勉強になりました。大きくなったらコンサドーレ札幌の選手になりたいです」と笑顔で話していました。



▲コンサ選手の指導を熱心に受ける少年団の子供たち

今回の大使を務めた地元出身の奈良選手は半年ぶりの帰省となり「地元のサッカー少年団に会えてうれしかった。教室を通じて子供たちはサッカーが好きなのを感じました。頑張ってる練習し、優秀な選手になってほしいです」と小さなアスリートのみなさんに期待を寄せていました。



▲地場産もち米を使った食育体験

新規就農者に激励状を授与

きたみらい管内に21人が就農

食と緑と水を守る職業である農業。これを「自分の職場」として、高校・大学などを卒業して就農された方、あるいは他産業に従事後、次のステップに進むための職場としてUターンされた方、いずれも農業への情熱は同じです。農業に意欲を持って取り組む青年に、毎年、JAグループ北海道五連から激励状が届けられています。

「健全な国土環境と国民の健康を守る社会使命を有している産業である」という自負心をもってほしい」と呼びかけました。



▲激励の言葉を贈る西川組長
枝さん(30)と授与式に参加。「組合長や職員の方が私たち新規就農者を大切にしてくれている様子が伝わり、温かく感じました。営農に当たっては一つひとつ丁寧に積み重ね、向上していきたいです」と話してくれました。

目標実現に向け

JAもサポート

北海道の農業・農村を担う一員として、新しく農業に意欲を持って取



▲激励状を受け取る小野敬市さん(北見地区)

り組む青年に毎年、JAグループ北海道五連(中央会・ホクレン・北信連・共済連・厚生連)会長連名の激励状と記念品を贈呈しています。本年度は全道JAで455人の青年に授与されました。当JAでは新規就農者12人、Uターン9人計21人に授与され、その就農率は全道100JAでも高い水準にあります。激励状授与式は、6月27日に北見モイワスポーツワールドで行われ、16人が出席しました。

その後、西川組長から一人ひとりに「頑張ってください」と声を掛けて激励状を手渡すと、新規就農者の皆さんは「頑張ります」と応えながら受け取っていました。



▲授与式に出席した16人の就農者とJAきたみらいの役職員

北見の「食の魅力」を広げて

新規就農者交流研修会で

HBC山内アナウンサー講演

オホーツク管内の北見市、訓子府、置戸町の就農3年目までの若手農業者を対象にした北見地区新規就農者交流研修会が6月29日、北見市相内のモイワスポーツワールドで開かれ、87人が参加しました。

北見市観光大使に就任し、さまざまな場面で北見市をPRする活動を行っています。

北見市観光大使に就任し、さまざまな場面で北見市をPRする活動を行っています。



▲北見の食の魅力を語る山内要一さん



▲山内要一さん(前列右から5人目)を囲んでの記念撮影

講師に北海道テレビ放送の山内要一アナウンサーを招き、「明日の「食」を担うみなさんへのメッセージ」と題して講演しました。山内さんは北見市出身で、2005年よりスポーツ実況を担当し、前年に北海道に本拠地を移した北海道日本ハムファイターズのプロ野球中継を中心に活躍されています。

また、2011年5月には

地区末広で玉葱を主に作付けしている実家に新規就農した小野卓也さん(20)は「自分と同じ新規就農者のみんなと語り合えたことより、仲間として、ライバルとして、共に頑張

っていきたいと思えた交流会だった。今後いろいろな情報を聞きながら、日々成長していきたい」と今後の熱意を話してくれました。

温根湯

畑地かんがい
施設整備

～干ばつ被害を軽減
収量向上目指し～



▲畑に恵みの雨を降らす散水機

6月に入りぐんぐん気温が上昇、なかなか雨が降らず、農家と農作物にとっては恵みの雨がほしい中、留辺蘗温根湯地区道営畑地帯総合整備事業（畑地かんがい施設整備）による「かん水」が、6月上旬から開始されました。

この事業は、受益者数約50戸、受益面積約610畝。地域農業の主力作物である玉葱の確保及び品質の向上等を目的として、平成19年度より実施され、本年散水機によるかん水が一部で開始されました。

組合員のみなさんは散水技術を高めることと合わせ、散水ブロックローテーションによる水利組合を組織、効果的な散水に取り組んでいます。

受益者となる組合員のみなさんは、事業が早く完了し、1日も早い「かん水」施設を利用できることを期待しています。

相内

手作りチーズで
ピザ作り

～支部料理講習会に
会員7人参加～



▲ピザ生地にトッピングする会員のみなさん

フレッシュユミズ相内支部（森谷美生支部長）は6月13日、地区事務所で開催された講習会を行い会員7人が参加しました。

熊本県のNPO法人スローライフミルクネットの北海道唯一の会員である大橋会員の指導のもと「手作りチーズ教本」を参考にしながら、モッツァレラチーズとストリングチーズの2種類を作りました。

大橋会員の牛乳を原料に教本を見ながら、チーズ作りにチャレンジ。出来上がったチーズをピザ生地にトッピング。同時にベーグルや堂島ロールケーキも作りました。

出来上がったものを、昼食として食べた会員のみなさんは「どれも美味しかった。チーズ作りがとても楽しかった。家でも作ってみたい」と好評でした。

上常呂

種子馬鈴薯
原々種圃場を視察

～上常呂種芋耕作組合
青森で研修～



▲馬鈴薯の罹病の説明を受ける生産者のみなさん

上常呂種芋耕作組合（吉村静一組合長）は6月17日から18日の2日間、視察研修を行い、種馬鈴薯の耕作者と事務局4人が参加しました。

初日は札幌の横浜植物防疫所を訪れ、施設内で行われている罹病株の判定を見学し、同所の炭田次席より説明を受けました。同所では当JAでも作付けしている男爵・きたひめ・スノーマーチ・オホーツクチップなどが栽培されており、参加した生産者全員で罹病の確認を行いました。

翌日には青森県にある独種苗管理センター・上北農場を視察しました。同センターは優良な品種の流通の確保及び適正な品種登録の実施、さらに栽培試験や調査研究などを行っています。同農場からは当JAにも種芋が出荷されており、参加した生産者は栽培管理や防除などについて、同農場の鈴木部長の説明を熱心に聞いていました。

置戸

緑の芝生に
白球が飛ぶ

～パークゴルフ大会に
部員15人が参加～



▲バーを狙ってボールを打つ部員

女性部置戸支部（東海林静子支部長）は6月13日、置戸町拓殖の「おけとパークゴルフ場」で、パークゴルフ大会を開きました。

当日は晴天で、日焼け対策万全の部員15人と地遊人（置戸町の農村生活体験生）2人合わせて17人が参加しました。開会式で東海林支部長は「晴天のなか、開催することができて良かったです。農業の合間のフレッシュをかね、怪我のないように楽しみましょう」と挨拶し、1チーム3～4人に分かれてプレーをスタートしました。

昨年度は実施していなかったため、久しぶりの部員もいて、一球打つ度に歓声（奇声？）が飛び交い、楽しみにプレー。終了後の昼食では、農作業状況や近況報告をしあい、終了しました。

端野

圃場観察で
効果的防除を

～青空教室に
99人が参加～



▲晴天のもと熱心に説明を聞く参加者

端野町玉葱振興会（古屋和徳会長）は6月11日に玉葱青空教室を開催しました。当日3地区に分けて行われた教室には、晴天のもと89戸・延べ99人が参加しました。

教室では平成24年産の玉葱販売・改装状況を振り返った後、講師の網走農業改良普及センター田中理恵専門普及員より、今年の気象経過と生育状況、病害虫防除対策について説明がありました。

説明の中では、今後の防除の時期がその後の病害虫予防に大きく影響するとし、圃場観察の徹底と、土壌診断による効果的な防除についてアドバイスを受けました。

参加者からは防除時期などについて質問が飛び交い、熱心に講師の説明をメモする姿がみられました。

同振興会では、今回の教室を皮切りに、7月と8月にも開催を予定しています。

北見

JA青年部
合同で道内視察

～夕食は端野支部と
支部間交流～



▲社員の話真剣に聴き入る部員たち

青年部北見支部（米森支部長）と上常呂支部（景政支部長）は6月24日と25日の2日間、道内視察研修を合同で実施し、北見支部より18人、上常呂支部より13人の部員が参加しました。

初日は「マルちゃん」の愛称で親しまれる東洋水産（株）北海道工場（小樽市）を視察。夕食の懇親会は、同日程で視察を実施していた青年部端野支部と札幌市内で合流し、支部間交流を行い、3支部の部員約60人が夕食を共にしながら交流を深めました。

翌日はMSK農機（株）本社（恵庭市）を視察。敷地内には200馬力を超える数々の大型トラクターが展示されており、部員たちは興味深く見入っていました。

初の合同実施となった本視察は、来年度の支部合併に向けての第一歩となり、有意義な時間となりました。



留辺蘂

知識を吸収し
高品質生産へ

～道内視察研修に
10人が参加～

▲宮越課長の説明を真剣に聞く部員のみなさん

青年部留辺蘂支部（坂下修一支部長）は6月4日と5日に道内の視察研修を行い、部員10人が参加しました。

1日目の午前中は、岩見沢市若松町の鎌田保夫さんの玉葱の圃場を視察しました。

JAいわみざわの宮越課長は、「鎌田さんは高品質な玉葱を生産するために早期播種による育苗期間の増長に努めており、本年度は極早生種の玉葱を4月17日に植え付けを行った」と説明すると、青年部員からは感嘆の声が上がりました。その後、各部員から岩見沢の土質や、気候についてなどの質問が上がりました。

午後には江別市の「ホクトヤンマー本社」、2日目には上富良野町の「土の館」で農業機械などを見学。

部員のみなさんは、実際に使われていた過去の農機具から、最新の高性能農業機械まで幅広く見学し、充実した視察研修となりました。

訓子府

激闘！
ソフトボール大会

～初の地区混合も
チームワークばっちり～



▲白熱した打ち合いを魅せる部員

訓子府支部の青年部（須河支部長）とフレッシュユニス（藤森支部長）は6月10日、抜けるような青空、真夏のような日差しの下、平成25年度ソフトボール大会を行いました。

43回の開催を数える本大会に、青年部75人、フレッシュユニス26人が参加。青年部理事が監督として率い、地区混合の6チームが熱い火花を散らしました。

注目の試合内容は、笑いあり（ポップフライをおでこで受ける奇跡の自打球）、涙あり（ピッチャーフライを追いかけて足がもつれ「もう若くないのかもしれない」としみじみする）など、盛りだくさんの珍プレーが続出する激戦となりました。

閉会式の後、穂波倉庫へ移動して怒涛の懇親会へ突入。混合チームごとに焼肉のコンロを囲み、激闘を称え合いながら、明日からの営農へ向け鋭気を養いました。

わが家のアイドル



訓子府地区・大谷
伊藤 蒼馬(そうま)くん(1歳6ヶ月)

元気いっぱい駆け回れ

おもちゃの車を走らせて遊ぶのが大好きな蒼馬くん。お母さんによると、どうやら回っているタイヤを眺めることがマイブームみたい。取材中もキョロキョロと、走り去る自動車のタイヤにつぶらな瞳を向けていました。

「タイヤの回転」という物理学者顔負けの渋い趣味だけではなく、アクティブな面も持ち合わせているのが蒼馬くんのアイドルたる所。着替え中に靴下を履かせてもらっただけで外へ飛び出し、どこまでも駆けていく超アウトドア派。無敵の靴下を履いて走り回るその姿は、まるで蒼い草原を疾走する駿馬のよう。

そんな蒼馬くん、ご両親は「たくさんの友達にかこまれて、元気いっぱいになってほしいな」と話してくれました。

訓子府地区・大谷の伊藤拓さん、聖子さん夫妻のお子さんです。

プリティ ウーマン



娘はパパっ子

訓子府地区・豊坂
中西 智子さん(31歳)

今回の「プリティウーマン」はフレッシュミズ副会長の訓子府支部・中西さんに登場いただきました。

- ◆ご出身は？
遠軽町です。小樽の短大を卒業後、札幌で働いていました。
- ◆ご主人との出逢いは？
友達の紹介で、私が実家に帰ってきた時に遊ぶようになりました。出逢って2年後の2007年に結婚しました。
- ◆お子さんは？
4歳の娘がいます。私が寂しいくらいのパパっ子です(笑)。私に見つからないようにこっそり二人でお菓子を食べていたり、寝る前の絵本もパパが読んでいます。眠くなる読み方のコツを知っているようで、とっても上手です！
- ◆組織活動ではどんなところが楽しいですか？
昨年支部長を務め、今年は副会長として本部役員2年目になりました。8支部の会員さんとの交流の輪が広がり、たくさんの刺激をもらっています！副会長として、JA事業にも出席することが多くなりましたが、JA運営に対してきちんとフレミズの意見を聞いてもらえ、組織として大切に考えてもらっていると実感しています。



堅実な経営を 目指す！

置戸地区・秋田
小林 健さん(35歳)

きたみらいの ホープさん

- 趣味は？
ルアー釣りやサッカー観戦です。
- 理想の女性は？
当然、妻でしょ！
- 休日の過ごし方は？
家族でドライブや小旅行をしたり、釣りをしています。
- 好きな食べ物・嫌いな食べ物は？
好きな食べ物はタルタルソースをかけたカキフライとエビフライで、嫌いな食べ物は、辛すぎるもの。
- 農業で学び実感したことは？
広い畑をのんびり走るトラクターを見て、ほのぼのしていると感じていましたが、実際は必死で作業していたことに気づかされました。
- 今後の抱負は？
もっと体力をつけて、日々の積み重ねを大切に、堅実な経営を目指して頑張ります。

9月号の「ホープさん」は、JAきたみらい青年部？支部の？さんを予定しています。広報編集委員が、突然、取材にお伺いすると思いますが、何卒、ご協力願います。

健さんは、酪農専業の良輝さん・礼子さんの長女の夫で、就農して4年目になります。

- Q出身地は？
公太さんは、留辺薬町大和出身で、祐美さんは、北見市出身です。
- Qいつ結婚しましたか？
平成14年10月に結婚しました。今年で結婚11年を迎えます。
- Qお付き合いしたきっかけは？
同じバンド活動を通じて付き合い始めました。
- Q趣味・娯楽は？
趣味は、公太さんがドラム演奏、祐美さんは、ギター演奏と手芸(アクセサリ作りなど)です。
- Q楽しかったこと・辛かったことは？
日々の生活は毎日が楽しく、充実しています。これからも今の生活が続くようお互いを理解し合いながら、一日一日大切に過ごしていきたいです。
- Qこれからしたいことは？
子供を連れて家族みんなでディズニーランドに行くことが夢です。



ながよし夫婦

夢は家族で ディズニーランド

温根湯地区・大和
下 込 公 太さん(32歳)
下 込 祐 美さん(33歳)

まちがいさがし

Bのイラストには、Aのイラストと違う部分が5カ所あります。間違っている部分を右下のイラストの中の数字でお答え下さい。

A



B



6月号クイズの当選者

6月号のまちがいさがしの答えは「1. 3. 7. 10. 12」でした。正解者38名の中から抽選の結果、当選者は次の方々です。尚、抽選はJAきたみらいの大坪常務にお願いしました。

()内は地区名

- ・大橋 静子さん (温根湯)・渡辺 聖也さん (訓子府)
- ・武田恵美子さん (留辺蘂)・岡嶋 厚子さん (相内)
- ・谷水 君江さん (置戸)・米森 奏さん (北見)
- ・島貫 千晴さん (訓子府)・黒須 友和さん (北見)
- ・黒川 春枝さん (訓子府)・武田 千歩さん (端野)

以上の方々には、JAきたみらいの加工食品「玉葱醤油(180ml)」2本をプレゼントします。

応募方法

答えが解った人は、別紙の応募用紙に答え(番号)と広報誌へのご意見・ご感想を記入してFAXでご応募下さい。抽選で10名の方に、榊清月の羊羹・ゼリー詰め合わせをプレゼントします。

元気な先輩

上常呂地区・常川

河野 タヨさん
(76歳)



美味しいシイタケを

タヨさんは昭和11年に置戸町勝山で生まれ中学校卒業後、実家の農業を手伝っていました。昭和34年に結婚し北見市常川に移り住みました。結婚した当時は、住宅地を含めて2畝程の農地しかなく経済的にも苦労したとのこと。夫と2人で水田10畝を目標に徐々に基盤を拡大しましたが、昭和60年に夫が病気で亡くなり、その後、子供夫婦と共に一生懸命働き、平成4年に目標に到達。また同年、知人に勧められ「シイタケ」の菌床栽培を手がけることになりました。この時、タヨさんは「始めるには多額の施設投資が必要となり、規模拡大したばかりで資金返済も多かったが、どうしても作ってみたかった」と始めた頃の思いを話してくれました。現在でもシイタケ栽培・販売はタヨさんが担当しており「長いも祭などで販売したお客さんに“肉厚でおいしい”といわれると、良いものをつくる励みになります」と笑顔で話してくれました。

ほのぼのの広場

大きくなったら



北見地区・大和

こはる
黒須 来春ちゃん(5歳)

看護師さんに!

わたしは大きくなったら、看護師さんになりたいです。

注射はいたくて苦手だけど、病気やケガした人々を助けてあげられるような、やさしい看護師さんになりたいです。

黒須友和さん、美保さん夫婦のお子さんです。笑顔で元気にお話してくれた来春ちゃん、通っている保育所ではお友達とおにごっこをして遊ぶのが楽しみです。

思い出の写真

この写真は、昭和52年に旧相内農協共済新規加入者を対象とした「佐渡ヶ島・会津磐梯・松島の旅」の佐渡ヶ島ホテル前で西相内地区みなさんでの集合写真です。

当時としては、3泊4日旅で、56人が参加され、組合長を団長として大型バス2台で出発し、参加されたみなさんは、漬物、とうきび等のおつまみを持参し北町さんは、プリンスメロンを持ち込み、みんなで楽しく食べたことを今でも鮮明に思い出そうです。

青函連絡船に揺られながら車中泊し佐渡ヶ島に到着し大佐渡スカイライン大平高原・七浦海岸夫婦岩・尖閣湾を観光し、ホテル主催の佐渡おけさ踊りに多数参加されていました。

宴会は、大変盛り上がり最後に盆踊りで締めました。

次の日は、会津で鶴ヶ城等を観光し、初めて乗る飛行機に揺られながら無事千歳に到着し支笏湖に泊り帰路につきました。

この旅で、多くの友達ができ話し切れないほどの楽しかった思い出しか浮かびませんと話してくれました。



▲後列左から3番目が北町さん

共済新規加入者で旅行

相内地区・西相内

北町 光子さん(72歳)



学 校で小麦を育てています。大きく育ててほしいです。何をつくるのが楽しみです。

(訓子府地区・濱野 由子さん)

心を込めて育てた分、収穫も待ち遠しいですね。収穫した小麦で何をつくるか、今から楽しみです。

暑 さがつついていますが、体に気をつけて頑張りましょう。

(上常呂地区・今田 悠仁さん)

6月は平年より暑い日が続きましたね。皆さんも風邪など引かないよう体調管理に気をつけてください。

今 の所、雨が少なくて、、、今年はどんな年になるのかな。良い秋が迎えられるといいですね。皆さん頑張りましょう。

(北見地区・桑原 幸江さん)

本当に雨が少なかったですね。これからの好天と恵みの雨を期待します。実りの秋を迎えられますように。

い つも楽しく読ませて頂いております。農業関係の仕事に就くのは初めてのことで、地域の農家さんを知れてとても良い冊子だと思っています。これからも、楽しみにしています! 農家さんファイト!

(端野地区・中村 友美さん)

ご愛読ありがとうございます。地域に密着した記事をこれからもお届けしたいと思っておりますので応援のほど宜しくお願い致します。

育

市内の3小学校で田植え体験

食

泥ん子まみれに笑顔はじける

5月29日に相内小学校の全校児童、翌日には南小学校の5年生、そして6月14日には東相内小学校の5年生が田植えの体験学習を行いました。これは各小学校で総合学習の一環として、生産者、JAきたみらい青年部相内支部、普及センターなどの関係機関が連携して毎年行われています。次代を担う子どもたちに食料



▲真剣そのものです(南小)

を作る農業の大切さや農作業の尊さ、そして収穫する喜びを感じ取ってもらおうと行っています。素足で田植えに挑戦した子どもたちは、泥んこまみれになりながら、一生懸命植えていました。最後の最後まで曲がった苗を直す子も見受けられ、子どもたちの熱心が伝わっ



▲大人も子どもも泥んこまみれ(相内小)

てきました。また、田んぼにいたカエルを捕まえている子もいました。秋には収穫したもち米で、お餅を作って食の生産から消費までを学びます。たくさん収穫できることを祈りましょう。



▲田植えが終わりニコリはじける笑顔(東相内小)

廃プラ

春の回収進む



JAきたみらいでは、例年実施しています農業用廃プラ等の回収を6月14日から、6ヶ所で行いました。販売業を営む義務として、JAでは、廃プラ用の搬出入・保管などを適正に処理するため、回収後、リサイクルを行っています。今年より、農業用廃ビニールをフロン詰めで、受け入れすることとしました。また、廃タイヤは西相内麦乾燥施設1ヶ所を集約して行われました。

7月11日の訓子府地区の回収で、春の回収全地区が終了となります。なお、秋の回収は昨年同様、西相内の麦乾燥施設1ヶ所で行いますので、組合員皆さんのご理解ご協力をお願いします。

JAからの お知らせ

INFORMATION

「TPPを考えるフォーラム」開催

関係団体や一般消費者を含め250人

オホーツク農業組合長会は、6月27日、北見市内ホテル黒部で「TPPを考えるフォーラム」を開き、JA女性部・フレミズ部員および関係団体や一般消費者など約250人が参加しました。

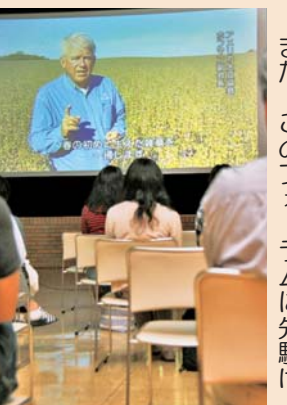
本フォーラムは、国益の定義さえ明らかにされず、情報提供も国民的議論も不十分なまま、TPP交渉参加が7月に想定されていることに、懸念を抱いての集まりとなりました。



▲フォーラム参加者に講演する東大鈴木宣弘教授

TPP交渉参加に反対するともに、農業以外の多くの分野を含めた国民生活に影響する問題であることへの普及啓発及び交渉脱退を求める国民世論を醸成することを目的に開かれたもので、北海道オホーツク総合振興局が後援、オホーツク管内消費者協会連合会など10団体が共催。当JAからは女性部・フレミズの本部役員など30名が参加しました。

フォーラムでは、東京大学の鈴木宣弘教授より「TPPをめぐる情勢と今後の対応策について」と題して、TPPの本質やその内容について2時間にわたり講演。TPP協定の影響や農業を悪者として、肝心の本質の議論がなおざりとなっている指摘、参加したみなさんは熱心に耳を傾けていました。また、このフォーラムに先駆け、



▲TPPの危険性を訴え上映

北見農業試験場 公開デー2013

～研究内容とほ場を紹介し～

- とき 8月8日(木) 午前10:00～午後2:00
- ところ 地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 北見農業試験場(訓子府町弥生52)

農業試験場はどんなことをするところ?とおっしゃられる方、ぜひ、ご来場ください。入場は無料です。※芝生で休憩もできます。(シートはご持参ください)

- ◎研究成果展示
 - ・品種、栽培技術
 - ・観察・相談コーナー(病害虫診断は、現物を密封してご持参ください)
 - ・ほ場見学バスツアー
 - ・畑で働く農業機械展
 - ・試食コーナー
- (バターロール、ポテトチップほか)
- ・おもしろ体験コーナー(子供向け)
- ・クイズラリー
- (挑戦した方に、いも・たまねぎをプレゼントの予定)
- ・生産者による農産物の販売
- (ファーマーズマーケット夢ミール)



▲昨年の試食コーナー

◎問い合わせ先
北見農業試験場
☎代表0157-47-2146

INFORMATION

外郭三組織

協同担う人材を育成

青年部、女性部、フレミズ 組織連携強化へ始動

連携強化へ始動

JAきたみらいは、JA組織の次代を担う人材を育てることを目的とした「学習する組織への改革推進協議会」を設置しました。各組織がそれぞれ進めてきた学習活動を一体的に話し合い、JAの総合力の発揮をめざす協議会を立ち上げ、組合員、役員、職員の三つの分科会を設けて、7月から活動を始めます。

具体的活動の検討

広域合併から今年で10年の節目を迎え、協同の根幹となる組合員組織内に新しい連携を構築することが、次世代のために特に重要と位置づけました。協議会は今後、組合員組織がそれぞれ進めてきた学習活動に焦点をあて、一体的な話し合いの場を設けていくものです。

6月12日に開いた協議会の第1回会合には、常勤役員や総務・営農両専門委員長と地区運営委員長、青年部・女性部・フレシユミズの外郭三組織の三役、JA幹部職員ら28人が出席しました。

西川組合長は「組合員、青年部、女性部、フレシユミズ、役員員がJAの課題を共有することが大切。JAの課題解決に向けた共通認識をもち、総合JAの原点に立ち返って学習する組織への改革を進める機関として協議会を設置した」と目的意義を強調しました。

意見交換では、「女性の正組合員加入推進」、「託児所開設によるフレミズが参加しやすい環境づくり」、「パ



▲第1回協議会の様子

「トナー対策の強化」などの提案が出されました。協議会と分科会は今後、研修などの計画や人材づくりなどに取り組み、具体的な学習活動の内容を検討していくことを確認しました。さらに来

外郭三組織

疑問と不安を解消

JA常勤役員との意見交換会

役員が出席しました。

JAきたみらい女性部（斉藤のり子部長）とフレシユミズ（穴田優子会長）は6月6日、青年部（荒喜文部長）は7日に、センター事務所



▲意見を述べるフレミズ本部の3役

常勤役員との意見交換会を行いました。各組織の執行部11名とJA常勤役員が出席しました。青年部からはTPPに参加した場合のきたみらいの損失について、女性部からは家族経営協定の推進について、フレミズからは活動の際の託児所設置に係る費用支援の要望など、活発な意見交換が行われました。三組織共通で出された意見としては、資材店舗の統合のメリットへの説明、利便性への不安の声が上がりました。これに対し常勤役員からは「メリットについては今後協議し、地区の実態や要望を含め最善の形を作っていく」と回答。質問者はまだ協議の時間があることがわかり、安堵の表情を浮かべていました。また、あわせて来年予定の10周年記念事業への支援についても要望が出されました。フレシユミズ執行部は、「人数が限られている分、意見を言いやすく、良い雰囲気だった」と感想を話していました。

JA合併10周年記念事業併催

JAきたみらい

乳牛共進会開催のご案内

JAきたみらい区域の酪農家の結束を高め、乳用牛の資質向上などを目的として開かれます。

ご家族お揃いで来場されますようお願いしております。

- とき 7月20日（土）午前9：30
- ところ 北見管内畜産総合施設（訓子府町実郷）
- 共催 JAきたみらい
- 協賛 きたみらい酪農振興協議会、北見市・訓子府町・置戸町・ホクレン北見支所・ホクレン商事・オホーツク農業共済・網走農業改良普及センターほか



▲昨年の共進会場

○審査員 アルタジヤパン株式会社 代表取締役細野 淳氏

（共進会認定審査員）

- アトラクション
- シヨーマンシヨ
- 小学生の部、中学生・高校生・実習生の部
- 各部予想コンテスト
- 最高位予想コンテスト
- 催事
- 地場産「F1牛肉」販売
- 地場産「くんねっぶりん」
- 「パニライス」限定300個販売
- 『牛乳消費拡大キャンペーン』
- 「きたみらい牛乳」および「消費拡大オアシナルグズ」
- 無料配布（先着300名）
- 「ポップコーン」無料配布
- 「お楽しみコーナー」（先着200名）
- 「仔牛と記念撮影会」先着100名
- 「動物とのふれあい体験」
- 「イベントコーナー」
- バターづくり体験50名
- 牛乳早飲み大会10名
- 「お楽しみコーナー」
- スマートボール・三角くじ・ヨーヨー・福まき（紅白もち・菓子類・雑貨）・福引き抽せん会

第5回 理事会報告

6月28日、午前9時より第5回定例理事会が開催され、報告事項12件、議決事項6件が協議され、原案通り承認されました。

- 【報告事項】
- ①固定資産状況共計品ダンボール等実地棚卸監査報告について
 - ②組合員状況報告について
 - ③財務状況報告について
 - ④人事の発令について
 - ⑤CSRレポート2013の発行について
 - ⑥JAバンク基本方針に基づく経営状況（モニタリング）の報告について
 - ⑦作況調査（5月15日）報告について
 - ⑧生乳状況及び個体取引価格について
 - ⑨10周年事業（きたみらいフォーラム・乳牛共進会）について
 - ⑩第3次中期経営計画実践状況報告について
 - ⑪平成26年産麦類の作付指標面積設定について
 - ⑫道連の決算及び剰余金について

- 【議決事項】
- ①出資持分譲渡について
 - ②農業体質強化基盤整備促進事業に係る施行業者の選定について
 - ③H25年産生乳生産の取組みについて
 - ④H25年産農産・青果物取扱要領の設定について
 - ⑤第4次農業振興方策並びに中期経営計画策定にあたっての基本方針について
 - ⑥H25夏期地区別懇談会提出資料について

キャンペーン 第1弾！ Facebook 抽せんで10名様に 北見メロンをプレゼント

JAきたみらい facebookでは、ただ今、オープン記念のキャンペーン第1弾を行っています。



▲QRコード

ページに『いいね！』をしていただいた方から、抽せんで10名様に北見メロンをプレゼント致します。期限は7月19日午後7時までですので、お早めにご応募ください。

<https://www.facebook.com/jakitimirai> からアクセスしていただくか、こちらのQRコードで読み込みください。



【材料：2人前】

- そうめん……………400g
- トマト……………1個
- トマトジュース……………100ml
- 水……………100ml
- サバ缶……………100g
- しょうゆ……………大さじ1
- パクチー・レモン……………大さじ2

トマトそうめん

【エネルギー305kcal(1人分)】

【作り方】

- ①トマトを大きめのみじん切りにする。
- ②トマトジュース、水、サバ缶、しょうゆ、①の半分の量のトマトを混ぜ合わせて麺だれを作る。
- ③そうめんをゆでる。
- ④ゆで上がったそうめん①の残りのトマト、パクチー、レモンを添え、②の麺だれでいただく。

メモ

トマトジュースで作るお手軽な麺だれ。トマトの酸味とサバのうま味がマッチしています。今回はパクチーとレモンを添えてエスニック風に仕上げってみました。麺だれはサバ缶以外にもツナ缶でのアレンジもできます。

おひさまサラダ COOKING

♥おいしいもの大好き!♥



【材料：2人前】

- カボチャ……………300g
- ベーコン……………100g
- みりん……………大さじ1
- 薄口しょうゆ……………大さじ1
- 水……………カップ1
- 油……………少々

カボチャとベーコンの煮物

【エネルギー284kcal(1人分)】

【作り方】

- ①かぼちゃを一口大に、ベーコンは食べやすい大きさに切る。
- ②鍋に油を引きベーコンを炒める。
- ③②にカボチャ、みりん、しょうゆ、水を入れ、落としふたをして中火にかける。
- ④沸騰したら弱火にして7～8分煮る。
- ⑤落としふたを取り、さらに煮汁が無くなるまで煮る。

メモ

ベーコンから出るうま味がだし代わりの簡単な煮物です。カボチャの素朴な甘さがベーコンとよく合います。コンソメを少し加えて洋風にアレンジしても楽しめます。

編集後記

- ・JAからのお知らせにありますが、6月中旬から各地区で農業用廃プラの回収が行われました。
- ・私は3日間受入れの手伝いをさせていただきました。真夏の到来を思わせるほど気温が上がった日や、早春を思わせる肌寒い日など、同じ月とは思えない、気温差が大きい中の作業で、机仕事ばかりの体に激しい筋肉痛が襲ってきましたが、久しぶりの外作業は爽快に感じました。7月には訓子府地区での回収を控えているので、それに向け体調管理をしなければ…と思いつつも、今に至っています。
- ・組合員の皆様につきましては、これから温度が上昇していく炎天下での作業の中、水分や塩分の補給をしながら、熱中症や農作業事故に十分注意してください。(虻川 卓也)

JAきたみらい概要

(平成25年6月21日現在)

- ・組合員数(正) 1,788人
- ・組合員数(准) 5,547人
- ・組合員戸数(正) 1,186戸
- ・貯金 99,685百万円
- ・貸出金 21,161百万円
- ・出資金 5,041百万円